

No. 864

コ ブ ラ 驚 動

—愛 知—

日本に毒蛇コブラ現る?!

おいなりさんで有名な愛知県豊川市の八幡白鳥町では毒蛇コブラ騒動でてんやわんや。

「水田に除草剤をまきにいったんです。稻の上に三角頭のみかけない蛇がかま首をもたげてじっとこちらを見ているんです。まむしとは違うので、びっくりして逃げ5m位離れた所でおそるおそるみていると三角頭の蛇もまたじっとこちらをみているじゃないですか。20分位にらみ合っていたんですよ」と。語るのは最初に発見した八幡町に住む土島芳子さん(48)。そのあと次々と目撃者が現れ、百科辞典と首っびきで調べたらどうもコブラらしいというからさあ大変。

市では警察署、消防署、保険所などの関係者を集めて『コブラ対策協議会』を作り対策に頭をひねっている。

珍案、迷案が出され、しどろもどろながらも少しづつ進んでいる対策。広報車で付近一帯の農家に広報車でPR活動を進めたりにわかづくりの捕獲棒を配布したり、プロガスの火炎放射器をつくったり………

先だって行なわれた上野動物園の首実験ではフィリピンコブラらしいというので急ぎマニラから血清を取り寄せるなど暑い夏のミステリーじみた暑い騒動。ともかく毒蛇コブラ?にかまれる被害が出ないうちに幕にしてもらいたいものです。

暑 い 夏 に 挑 戦

連日、30度を越す暑さ、人間はもとより、アフリカ産のカバやライオンもグロッキー。ピークの午後2時頃はもう駄目だとばかり人間も動物も皆ひっくり返っている。だがここに『暑いと思うから暑い。要は心の持ち方一つ』と何やら悟りめいたことを言い、暑さに挑戦している人間がいる。『終点道場』と看板を掲げた黒めがねの男、田中定雄(江東区・千田、49歳)センセイだ。暑さに参った体は少々手荒に診療しなければと、首っ玉を押さえてグイーとまわす。ムチ打ち症に効果があるというが一瞬寒気がする。

『悟りなら私の方が上手』というのが妙円寺の住職、本間慈山さん。(渋谷区・神宮前)。人生の終点はひき受けましたとおどされれば暑さも吹っ飛ぶというもの。だが心やさしいこの坊さん、実際は伝統あるホーロク炎で御身の健康を祈ってくれるほんの2、3分で暑気払いができるとは、やはり悟り方がちがう。『悟りなんか関係ない』とうそぶくのが現代っ子達。おなかに湯タンポやカイロを入れ、冬物の着物をどっさり着込んで、その上たき火にあたる、がまん会を開いた。なにはともあれ、暑さを忘れ夏を過ごしたいものだ。